南砺市「協働のまちづくりモデル事業」

NPO・ボランティアグループ等の市民団体　事例集

◆協働のまちづくりモデル事業とは

南砺市が進めている市民と行政による「協働のまちづくり」の実現に向けては、自ら考え、自ら行動する住民組織の存在が不可欠です。

この事業では、平成 21 年度から住民に最も身近な集落、町内会や自治会において、自ら実践する地域づくりの機運を高め、住民自治活動の充実強化を図るため、市が支援してきました。また、平成 23 年度からは市民団体の皆さんによって実施される事業に対しても支援をしています。

◆対象団体等

市内に事務所及び活動場所を有するＮＰＯ、ボランティアグループなどの、市民団体を対象。ただし、次の３つの要件を満たしていなければなりません。

①５人以上の会員で組織していること
②組織の運営に関する規則があること
③予算及び決算を適正に行っていること

◆事業の内容

特定の地域や会員に限らず、広く市民を対象として、新たな公共の分野で展開する地域づくり活動の実践に、**最長で３ヶ年、各年 80%補助で上限 30 万円を助成**します。

※なお、「単年度事業枠」もあります。

◆対象事業

支援対象事業は次の７項目のいずれかをテーマとして、ア～ウに該当する事業です。

注意点として、他の補助事業と会計が明確に分けられる事業とします。また、従来から実施している事業は対象外ですが、新たな事業及び既存事業の拡充となるものは対象となります。

〔事業テーマ〕

(1) 集落の防犯、防災、福祉、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動など、「安心・安全な地域社会形成事業」
(2) 地域資源を活かしたコミュニティビジネスなどの「産業振興事業」
(3) 伝統文化の保全や復活などの「文化振興事業」
(4) 少子高齢化、子育て支援、Ｕターン対策などの「定住等促進事業」
(5) 地域資源を活かした「まちづくり事業」
(6) 環境保全、美化、エコなどの「地球にやさしいまちづくり事業」
(7) その他、「地域の活性化を図る事業」

また、下記に該当すると市長が認める事業を実施するものとします。

〔対象事業〕

ア．公益的、社会貢献的な事業（地域課題や社会的課題の解決が図られる事業）
イ．市民満足度が高まる事業（具体的な効果や成果が期待できる事業）
ウ．先進性、先駆性のある事業（工夫やアイデアがあり、新しい取り組みの事業）

事例1　よみがえる『塩硝の道』ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ

（塩硝の道広域研究会）

加賀藩政時代に火薬の原料となった五箇山産の塩硝を金沢まで運んだ「塩硝の道」の再現に取り組んでいます。今後平成２６年度末に予定されている北陸新幹線開業を見据えた広域観光事業として具体化を図ります。

ルートの現場踏査及び環境整備

塩硝の道広域研究会設立総会

団体の概要：太美山自治振興会と、「塩硝の道」において交流のあった団体（金沢市崎浦公民館、湯涌地区塩硝研究会、刀利会、五箇山自然文化研究会）とが広域連携組織として「塩硝の道広域研究会」を設立した。

事業の内容：主な塩硝生産地（上平西赤尾）、塩硝運搬ルート（五箇山～刀利～湯涌～涌波）、塩硝蔵（金沢市土清水）、そして福光射撃練習場の拠点を結び、塩硝の生産・運搬・火薬製造そして射撃までの過程を現代において再現することを目標に、「体験」「学習」「交流」の３つの言葉をキーワードとし、環境整備と観光事業化調査を通じて活性化しようとするプロジェクト。

計画期間	実施内容および実施予定
H24 年度	ルートの現場踏査及び環境整備、塩硝の道広域研究会設立総会
H25 年度	トレッキングツアーの実施及び観光事業化調査
H26 年度	塩硝火薬の試験生産及びイベント実施の検討

事例2　GO！三つのあﾟﾜｰをもった東太美の宝に!!

（東太美子ども声かけ隊）

モデル事業採択前の平成 22 年度までは、夏休みこども教室 12 回、親子自然体験事業４回、世代間交流事業２回を行ってきたが、振替休業日や長期休業時も夏休みと同様に、また放課後学童保育もぜひ実施してほしいとの要望が強くなり、平成 23 年度よりモデル事業の採択を受け東太美公民館にて実施している。

事業の内容：福光南部小学校には放課後児童クラブが TA、旧福光町、南砺市へ現状を訴え働きかけていたが抜本的な対策が進まなかった。そこで「東太美子ども声かけ隊」のメンバーが中心となり、次世代を担う青少年の育成のために、ま

たより良い地域の環境づくりのために事業を開始した。平成 24 年度は事業のある日の学童保育 198 日、振替休業日子ども教室 6 日、長期休業時子ども教室等 24 日の計 228 日実施した。

事例3　「作品ファンのもう一つのふるさと」南砺市プロジェクト！　（「真実の涙をもう一度」有志会）

南砺市を作品舞台ファンの「もう一つのふるさと」に
～南砺市の文化・歴史・伝統を、映像作品を核に発信・発展～

団体の概要：全国に在住する、南砺市・城端を舞台にした映像作品ファンと、南砺市民との協働を推進する事業の企画、実施を行う、ファン有志の集まり。

事業の内容：南砺市、城端地域を舞台にした映像作品などを核にし、南砺市の地域・産業の活性化を図る企画を 3 つの柱で実現
・作品の舞台を訪れるファンの増加・リピーター化
・作品と地元特産品とのコラボレーション商品提案、作品にちなんだイベント企画・開催
・作品をきっかけに南砺市を知ったファンと地域住民との新しいネットワーク構築

計画期間	実施内容および実施予定
H24 年度	情報誌「南砺のあるきかた～城端特集～」の製作･販売､イベント「城端春日和 2012」「城端秋日和 2012」の開催
H25 年度	前年度イベントに加え常設スペースにおいても不定期にイベント開催。 新しい商品の企画・販売。 城端以外の南砺市域（五箇山、井波など）でも観光振興と結びつける準備。
H26 年度	特産品販売などの収益で、補助に頼らないイベント開催・商品開発が可能に。 観光振興とタイアップした特産品を企画・販売。作品名などを通じた生産者同士のネットワークを構築。ファンなどとの交流も図る

協働のまちづくりモデル事業実施団体一覧（市民団体枠）

○平成23年度採択：H23～25（3か年） 全5団体

No.	地域		実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	城端	1	「真実の涙をもう一度」有志会	佐古田 宗幸	「作品ファンのもう一つのふるさと」南砺市プロジェクト	南砺市を舞台とした「アニメ」を題材として、地域の魅力を発信するとともに、地域産業の活性化を促すイベントを実施する
2	福光	1	あんぜんでおいしい野菜をつくる会	舘田 宏親	あんぜんでおいしい野菜づくり	学校給食の残さを利用した肥料をもとに野菜づくりを実施し、最終的に学校給食の材料とする「循環型社会」の構築を目指す
3	平	1	平郷土学習会	池田 美智子	絵本で伝える五箇山の記憶遺産	五箇山の文化・暮らし・産業を絵本化し、広く読み聞かせることで、子供たちの郷土愛が育まれ後世にも繋げていくことと、お年寄りにもこれからの生きる喜びに繋げていく
4	井波	1	仕合せ電話グループ	前川 正夫	郷土の名水や由緒伝説による生きがいづくり	故郷の名水とその伝説を調査・文書化し、読み聞かせをすることで後世に繋げ、お年寄りから若者までのいきがいづくりに役立たせる
5	福光	1	東太美子ども声かけ隊	高瀬 和子	○○! 三つの(愛)パワーをもった東太美の宝物に!	福光南部小学校区には放課後学童保育が存在しないため、東太美地区独自の放課後学童保育を実施することで、子供たちの新たなよりどころを作り上げるとともに、将来は南部小学校区全域での実施に繋げる

○平成24年度採択：H24～26（3か年） 全4団体

No.	地域		実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	全域	1	地域再生道場	吉田 稔	湧々プロジェクト	有機農法による安全で健康に優しい作物の生産に取り組み、有機農法としての知名度を上げ、「農」と「食」を通じて健康維持への意識高揚と郷土への愛着を育むとともに、都市との交流事業を展開し、地域活性化に繋げる
2	平・上平	1	平・上平青年団	安達 孝彦	ふるさと情報発信・若者UJターン促進事業	平・上平地域の若い出身者へふるさと情報（就職情報など）を発信し、地元との繋がり・絆を感じてもらい、地元での就職を促進することで、少子高齢化の抑制に努めるとともに、地域の活性化に繋げる
3	福光	1	塩硝の道広域研究会	新井 行雄	よみがえる「塩硝の道」プロジェクト	塩硝の生産、運搬、火薬製造（射撃）までを再現することを目標として、「体験」「学習」「交流」の3つのキーワードをもとに、広域的連携を図りながら環境整備と観光事業化調査を通じて地域の活性化を図る
4	福光	1	福光城址・栖霞園をひらく会	土生居 弘	「福光城址・栖霞園をみんなのものに」事業	福光城址・栖霞園の歴史と文化について調査し、今日まで地域の発展に寄与・貢献した人々を顕彰することで、地域への親しみを高めまちづくりへの一助とする

○ 平成24年度採択：H24（単年度） 全1団体

No.	地域		実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	井波	1	七村郷Vセブン委員会	前川 哲郎	歌と踊りで繋ぐ"歴史、文化、環境保全"事業	不動滝の歴史・文化・環境を「不動滝名水音頭」として作成し、イベント等で歌い踊り継がれることで、地域の活性化に結びつける

○平成25年度採択：H25～27（3か年） 全2団体

No.	地域		実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	全域	1	富山県氷見地区公共交通再生研究会	安田 賢治	なんバス discover なんと 事業	市民と市を訪れる観光客のために、現在走っている「なんバス」を知悉してもい、利用効率を上げる。環状快速バスの実運行に際して、利用される仕掛けをして乗車効率をアップする。さらに、他のフィーダー線の整理統合を図る。
2	全域	1	南砺市小水力発電開発研究会	木本 裕二	豊富な水資源を活かした小水力発電の開発研究事業	小水力発電システムの改良、新規開発、実証実験及びデモンストレーションを実施するとともに、適地マップの作成、人材育成、普及促進活動を実施していく。 小水力発電を軌道にのせることで、地域経済の活性化、地域雇用の創出につなげていく。

○ 平成25年度採択：H25（単年度） 全3団体

No.	地域		実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	井波	1	井波彫刻協同組合青年部	横山 丈樹	日々是彫刻 ～井波彫刻師の日常～	井波彫刻師の日常を、富山市グランドプラザにて部員20名による集団実演というパフォーマンスで披露し、より多くの人々に井波彫刻を知ってもらい、身近に感じてもらう。この環境と興味により、次のステップである「実際に井波を訪れ雰囲気を感じてもらう」「井波彫刻のファンになってもらう」「作品を購入してもらう」に繋げていく。
2	城端	1	なんと里山なりわい塾	山瀬 悦朗	南砺の杉林活用プロジェクト ～自伐林業育成とエネルギー自給・地域内流通のしくみづくり～	南砺市は杉の人工林が多く、短期的な「皆伐林業」になっている状況であり、長期的に杉林を維持・育成していく視点が欠如していることが課題であり、山を守る知識や技術を学び、次世代のために、エネルギー自給や雇用創出などのしくみづくりを行う。
3	井波	1	開乗寺つつじの会	永田 幹夫	夕日・音楽のコラボレーション Chill out in kanjoji	開乗寺開発が始まってから60年、公園の開園から40年、この年に式典を開き記念行事を開催し、記念コンサートや60年の歩み資料展示をする。市民に「癒し」の場を提供し、開乗寺の歴史を知ってもらうとともに、若者・県内外・海外からの観光客を取り込む。

○平成26年度採択：H26～28（3か年） 全5団体

No.	地域		実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	福光	1	西太美地域おこし支援隊	山崎 彰	ともに生き、支え合う地域づくり	住民連携による江波い・草刈りなどの共同活動の互助、史跡・未来遺産の整備、先進地視察（体験研修、民泊）を行い、地区住民がふれあい、魅力ある地域づくりを目指す。
2	五箇山	1	五箇山自然文化研究会	今井 芳正	新幹線到達新時代とヨシュラン☆☆☆街道路線バス定着による地域活性化…ガイド形態の改善とおもてなし…	路線バス利用者をターゲットとしたガイド活動により、地域の魅力再発見を図る。またサイクリング利用による解説活動を試行するなど、解説活動の拡充に加え新たな客層の取り込みにより五箇山の魅力を高める。
3	福光	1	福光観光ガイド「麻のれん」	西村 勝三	福光ぶらりまち歩き事業	南砺市民および南砺市を訪れる観光客をターゲットにした「福光ぶらりまち歩き」を実施する。その他、ガイドのための説明資料作成（拡大写真、ガイドマップ等）および案内サイン等の調査、改善等の提案を実施。
4	全域	1	NPO法人 なんと元気	蓮沼 晃一	南砺自慢を詰め込んだ「なんと元気パック」を全国にお届け！ 南砺を離れて住む人の協力を得て、南砺市民のやりがいを育む	生産者のやりがいや地元への誇りを育くむため、南砺市外に住む南砺市にゆかりや興味がある人を主な対象として、特産品を生産者のこだわりが見える形で「なんと元気パック」に詰め込んで届ける。また、気持ちを込めた情報紙なども作成し発送する。
5	全域	1	にほんご広場なんと	前田 啓子	にほんご広場南砺の居場所づくり	外国人にとっては、日本語会話が生活をしていく上で必要。よって、日本語支援サポート、文化体験活動、料理教室、地域行事参加、社会見学を実施し、外国人が日本に馴染めるよう居場所づくりをする。

○ 平成26年度採択：H26（単年度） 全1団体

No.	地域		実施団体名	代表者名	事業名	主な活動内容
1	平	1	平婦人会	中島 陽子	私たちに教えて！！ ～五箇山の伝統料理の継承～	五箇山地方には、報恩講料理など多くの伝統料理が受け継がれている。しかし移住や地域外から嫁いできた会員は、料理方法を充分会得していない。これらの会員を中心とした伝統料理教室を開催し、食文化伝承を図る。

平成 27 年 4 月 16 日

協働のまちづくりモデル事業（市民団体） 説明資料

１．事業採択申請書の提出について

提出期日：平成 27 年 5 月 31 日（日）

２．プレゼンテーションおよび審査について

日程：　６月中旬（改めて案内）

プレゼン方法：　パワーポイントによる説明（１団体１０分程度）

審査方法：　事業採択申請書の事前審査およびプレゼンによる審査

結果発表：　当日結果発表

３．事務説明会について

採択された団体を対象とし実施します。

日程：６月下旬（改めて案内します）

内容：補助金交付申請書および実績報告書の説明

４．補助金交付申請書の提出

提出期日：７月中旬（改めて案内します）

５．補助金交付決定、補助金の交付について

交付決定日：７月中旬を予定

補助金交付日：７月下旬頃、100％概算払い

６．事業採択申請書の書き方について

補助対象外のもの：飲食費（ただし、会議時のお茶や菓子代は、年間 5,000 円まで補助対象）
食材費（ただし、料理教室の材料代は補助対象）
団体構成員の人件費や講師謝礼

※備品について、備品ばかりは不可。ただし、３ヵ年計画を実行するのに１年目に備品が大量に必要など特殊な場合は補助対象とします。

７．応募資格について

事例集を参照

８．その他注意事項

①補助金交付決定日（７月中旬）以前の事業実施およびそれに対する支出は補助対象外。

②繰り越しは認められない。３ヵ年事業であっても、１年ごとに会計処理すること。

③補助率は８０％　補助金上限は３００，０００円

つまり、３７５，０００円以上の補助対象事業で満額３００，０００円の補助

３７５，０００円×８０％＝３００，０００円

７月下旬に３００，０００円を概算払いするため、３７５，０００円に満たない場合は、後に返還義務が発生。

④事業実施中、プレゼン時との計画に変更が生じる場合は、必ず市民協働課に相談すること。

前向きな変更なら良いが、当初の目的から逸脱したものは、補助対象外となる。大きな変更については、計画変更の提出と市の承認が必要。

⑤南砺市以外の他事業補助との併用は認めるが、まちづくりモデル事業分と他事業分の事業費を明確に分けること。

⑥まちづくりモデル事業実施中のまちづくりチャレンジ事業への移行は不可。

⑦事業採択に向かって、また実施中の期間において、どんなことでも市民協働課に相談してください。

９．地域づくり成功のポイント！

①地域の課題と解決方法を明確に示した団体は評価が高い。そしてモデル事業も成功！

②数値目標は必ず付けること。そして実現していくこと！

③新しい人や団体を巻き込み、市民満足度を上げること！　新たな公共として南砺市のモデルに！

１０．参考

昨年の申請および採択状況

	申請数	採択数
市民団体３カ年枠（５枠）	６団体	５団体
市民団体単年度枠（５枠）	１団体	１団体

１１．質疑

問合せ先：南砺市役所　市民協働課　市民協働係　担当：石本

南砺市協働のまちづくり支援センター内（井波コミュニティプラザ「アスモ」２階）

TEL：23-2036　FAX：82-0170

※市民協働課は、火曜日と第４月曜日が休館日（開館時間は１０時～２１時）